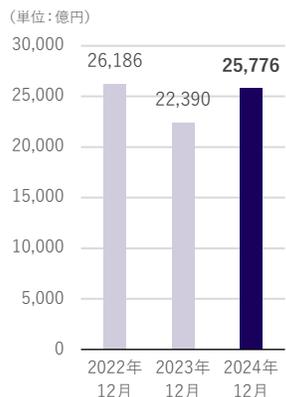


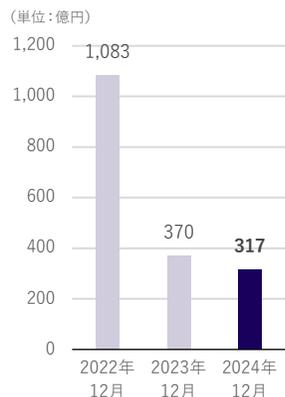
企業情報

● 財務情報（連結）

売上収益※1

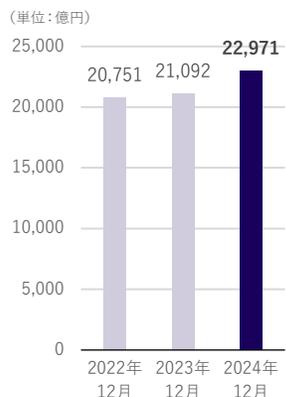


当期利益

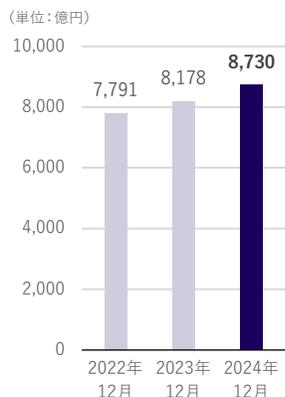


※1 「海外売上収益」は連結調整後数値

資産



資本



● グローバルネットワーク※2

展開国数 **56カ国** 従業員数 **76,389人** (日本国内 49,951人 海外 26,438人)

ロジスティクス事業 294社

● 日本118社

日本通運株式会社
NX・NPロジスティクス、
日通NECロジスティクス、
NXワンビシアークイブズ、
NX海運、NX北旺運輸、
NX仙台塩竈港運、NX備通、
NX境港海陸、NX徳通
以下連結子会社 84社
持分法適用関連会社 34社

● 米州14社

NXアメリカ
以下連結子会社 13社
持分法適用関連会社 1社

● 欧州109社

NX欧州、NXUK、
NXオランダ、NXフランス、
NXイタリア、
カーゴパートナーホールディングス
以下連結子会社 109社

● 東アジア25社

NX国際物流（中国）、
NX香港、
APCアジア・パシフィック・カーゴ、
NX韓国、NX台湾国際物流
以下連結子会社 23社
持分法適用関連会社 2社

● 南アジア・オセアニア28社

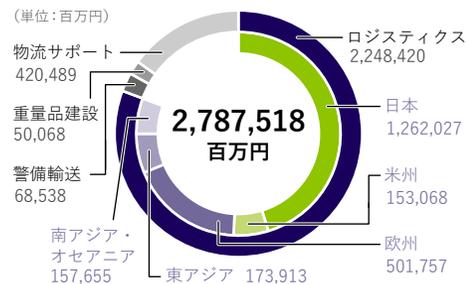
NX南アジア・オセアニア、
NXシンガポール、
NXオーストラリア、
NXマレーシア、NXタイ、
NXロジスティクスインドネシア
以下連結子会社 25社
持分法適用関連会社 3社

物流サポート事業 41社（国内30社、在外11社）
NX商事、大阪倉庫、NXキャピタル、NXキャリアロード
以下連結子会社 31社／持分法適用関連会社 7社／その他関係会社 3社

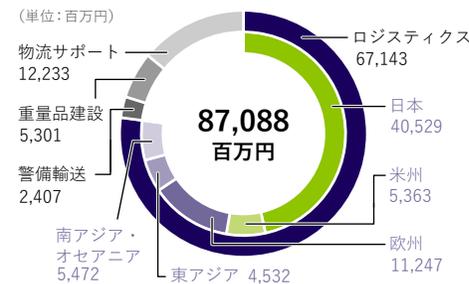
警備輸送事業 1社（国内1社）
NXキャッシュ・ロジスティクス
連結子会社 1社

重量品建設事業 1社（日本国内1社）
バラージング
持分法適用関連会社 1社

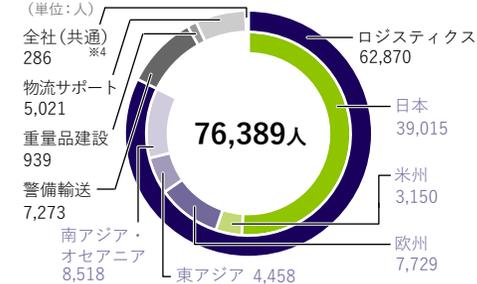
セグメント別売上収益（連結）※3



セグメント別利益（連結）※3



セグメント別従業員構成（連結）



※2 2024年12月31日現在 ※3 グラフ内の金額は調整額を含まない数値 ※4 どのセグメントにも属さない人員

イニシアティブへの参画 / 社外からの評価

イニシアティブへの参画

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社は、物流業界における環境・社会関連のさまざまな外部機関・会議などに積極的に参画し、持続可能な社会への貢献に向け協働しながら取り組んでいます。

● 社外活動への参画

国土交通省

- 交通政策審議会交通体系分科会環境部会
- 持続可能な物流の実現に向けた検討会

日本経済団体連合会

- 環境委員会
- 資源・エネルギー対策委員会
- 企業行動・SDGs委員会
- 消費者政策委員会
- 危機管理・社会基盤強化委員会
- 雇用政策委員会
- 労働法規委員会

経団連自然保護協議会

経団連自然保護協議会企画部会

日本物流団体連合会

物流環境対策委員会

全日本トラック協会

- 環境対策委員会
- 環境対策小委員会

● イニシアティブへの賛同

TCFD



TCFDは、G20の要請を受け、金融安定理事会（FSB）により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討するために設立された「気候関連財務情報開示タスクフォース」です。当社はTCFDによる提言内容を組織として支持することを表明しています。

詳細は、当社WEBサイトをご覧ください。

TCFD提言に基づく情報開示

GXリーグ



カーボンニュートラルへの移行に向けた挑戦を果敢に行い、国際ビジネスで勝てる企業群が、GX（グリーントランスフォーメーション）を牽引する枠組みです。当社はこの活動に賛同しGX実現に向けた取組みを進めています。

SBTi

SBTiは、国連グローバル・コンパクト（UNGC）、世界資源研究所（WRI）、世界自然保護基金（WWF）の協働イニシアティブで、企業の温室効果ガス削減目標の評価を行っています。NXグループの2030年削減目標は、2025年6月、SBT短期目標の認定を取得しました。

ニュースリリース

社外からの評価

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社を選定されている主なESG投資インデックスは、以下のとおりです（2025年3月現在）。

MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

MSCI日本株女性活躍指数

2025 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社のMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCIまたはその関係会社によるNIPPON EXPRESSホールディングス株式会社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。

S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

ESG投資インデックスの詳細は統合報告書をご覧ください。
 統合報告書2025

CDP 気候変動



環境情報開示における国際非営利団体であるCDPが2024年に実施した気候変動プログラムにおいて、当社はB評価を獲得しました。

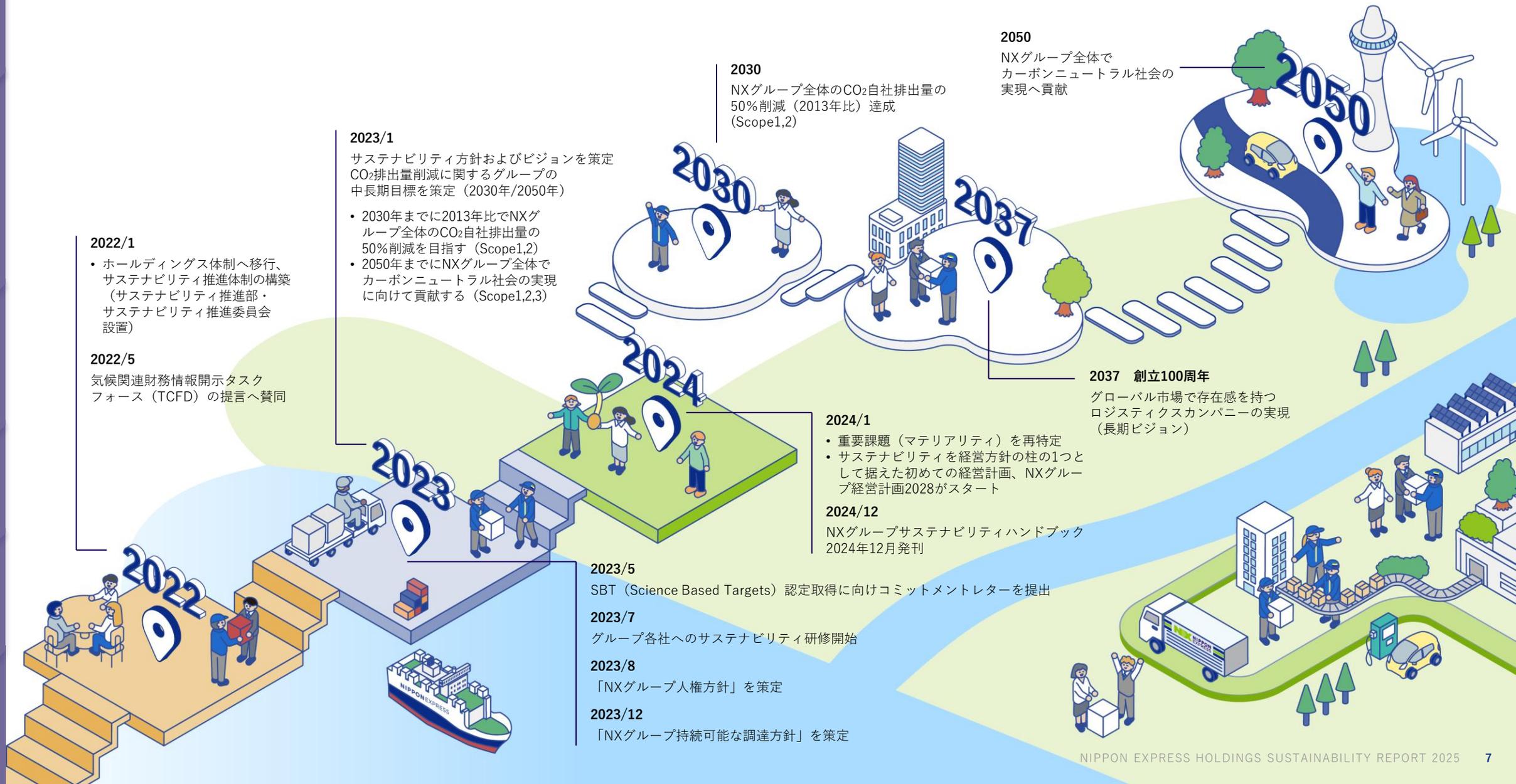
EcoVadis

世界中のサプライチェーンの持続可能性を推進しているEcoVadisのサステナビリティ評価における当社の2024年の総合得点は51点でした。

NXグループのサステナビリティ経営の歩み

サステナビリティ経営

重要課題（マテリアリティ）

環境的価値
Environmental Value社会的価値
Social Value経済的価値
Economic Valueガバナンス
Governance

2022/1

- ホールディングス体制へ移行、サステナビリティ推進体制の構築（サステナビリティ推進部・サステナビリティ推進委員会設置）

2022/5

気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言へ賛同

2023/1

サステナビリティ方針およびビジョンを策定
CO₂排出量削減に関するグループの中長期目標を策定（2030年/2050年）

- 2030年までに2013年比でNXグループ全体のCO₂自社排出量の50%削減を目指す（Scope1,2）
- 2050年までにNXグループ全体でカーボンニュートラル社会の実現に向けて貢献する（Scope1,2,3）

2030

NXグループ全体のCO₂自社排出量の50%削減（2013年比）達成（Scope1,2）

2050

NXグループ全体でカーボンニュートラル社会の実現へ貢献

2037 創立100周年

グローバル市場で存在感を持つ
ロジスティクスカンパニーの実現（長期ビジョン）

2024/1

- 重要課題（マテリアリティ）を再特定
- サステナビリティを経営方針の柱の1つとして据えた初めての経営計画、NXグループ経営計画2028がスタート

2024/12

NXグループサステナビリティハンドブック
2024年12月発刊

2023/5

SBT（Science Based Targets）認定取得に向けコミットメントレターを提出

2023/7

グループ各社へのサステナビリティ研修開始

2023/8

「NXグループ人権方針」を策定

2023/12

「NXグループ持続可能な調達方針」を策定